

山手町水路転落死亡事故に関する申し入れ

2014年5月20日

福山市長 羽田 皓様

日本共産党福山市議会議員団

村井 明美

高木 武志

土屋 知紀

河村 晃子

5月16日、山手町の水路に80歳の男性が転落し、死亡されているのが発見されました。この水路は、幅2.8m、高さ1.6m、水深0.25mであり、転落したと思われる箇所には、転落防止柵は設置されていませんでした。

犠牲者のご家族の皆様に、深く哀悼の意を表すものです。

日本共産党福山市議団は、事故が起こるたびに、現地調査を行い、緊急対応と共に市全域の水路、側溝、ため池などの転落防止策の強化を要請して参りました。

福山市として、市道緊急箇所整備など転落防止策を行っているにもかかわらず、今年度に入り、すでに2名の尊い命が奪われることとなり、誠に残念であります。

さらなる安全対策を強く求め、以下の要望を致します。

【要望項目】

- 一、当該の市道に、転落防止柵を設置すること。
- 一、水路転落防止対策予算を抜本的に増額すること。
- 一、地域住民と共に、地域の総点検を行い、必要な対策を講じること。また、交通安全教室の開催や、町内会や老人会などへ注意喚起を行い、市民の安全意識を高めること。